



輝け 城東っ子



R6. 8. 30

校長 高橋 正和

元気な声と笑顔でスタート

41日間の長い夏休みが終わり、学校では、子供たちの元気な声が聞かれ、笑顔いっぱい活動する城東っ子の学校生活がスタートしました。

今年の夏は非常に暑く、夏休み中も外での活動ができない日もあったのではないのでしょうか。そんな中ですが、パリオリンピックが開催され、熱く盛り上がった夏休みになりました。夏休み前朝会では、「夏休みは、今までにない、自分の力が出せる大きなチャンスです。」という話をしました。パリオリンピックにも後押しされたのか、子供たちからは、いろいろなことにチャレンジしたという話を聞くことができました。

そして、夏休み明け朝会では、オリンピックに絡めた野球選手のイチローさんを話題にしながら、「努力は裏切らない」という話をしました。まだまだ暑い日は続きますが、暑さ対策をしながら、暑さに負けず、失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジできるよう、子供たちの未来のために全教職員で取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



夏休みのできごとから ① 体育館工事が本格的に！

夏休みに入り、体育館の長寿命化工事が本格的に始まりました。西門が使えなくなったり、校庭が狭くなってしまったりと、児童、保護者、地域の方々には、大変ご不便をお掛けしております。駐車場につきましては、南門から入っていただき、校庭特設駐車場をご利用ください。出来る限り徒歩や自転車での来校にご協力をお願いいたします。また、登下校時等の安全につきまして、ご家庭でもお子様へのお声掛けをお願いいたします。



夏休みのできごとから ② 森の工作教室！

7月21日（日） 地域協議会の皆様のお力で、親子で作ろう森の工作教室が開かれました。子ども教室登録者3・4年生の希望者が親子で集まり、木片や木の実など、自然の素材を使って、自分らしさを表現した素敵な作品を仕上げていました。暑い中でしたが、笑顔がいっぱいでした。



夏休みのできごとから ③ PTA 奉仕作業！

8月24日（土） 気持ちよく夏休み明けがスタートできるよう、PTA 奉仕作業が行われました。たくさんの保護者の方がお集まりくださり、普段の清掃時間ではきれいにできないところを中心にお掃除していただきました。さらに、たくさんの子供たちも一緒に活動することができました。親子で、そして、先生も一緒に、皆のために働けたことは意義があることだと感じました。感謝の気持ちを忘れず、50周年の母校を大切にしていきたいと思います。暑い中、ご協力ありがとうございました。



宮っ子伝統文化体験教室（6年生）

7月3日（水） ふうくべ洞の方々を講師に迎え、宇都宮市の古くから伝わる張り子で作られた郷土玩具「きぶな」の絵付けを体験しました。昔、宇都宮で天然痘が大流行した時、田川で釣り上げた黄色い鮒を食べたところ病気が治ったという伝説があり、無病息災などの願いを込めながら色を付けていました。みんなが健康でいられますように。



表彰朝会・体育館お別れ式

7月16日（火） 今までの体育館最後の表彰朝会を行いました。水泳競技大会や歯と口の健康週間、6年間虫歯0賞の表彰です。子供たちの頑張りの一部です。おめでとうございます。

7月19日（金） 今までお世話になった体育館とのお別れ式です。体育館クイズや校歌を元気いっぱい歌い、感謝の気持ちを表しました。今まで本当にありがとうございました。



校内研修：アレルギー対応嘔吐物処理研修・校内研究要請訪問・児童指導研修

先生方も日々学ばせていただいています。アレルギー対応についての共通理解を図ったり、安全教育について、市指導主事にご指導をいただいたり、学級をより良くするためのツールを使った研修を行ったりしました。今後も学び続けてまいります。

<ことばの窓> 基本的信頼感を確立させるために！

「そのままがいい」子どもへの最高の愛情表現であり、無条件の承認である。（児童精神科医 佐々木正美）

